

第2部 アンケート調査

第1章 アンケート調査の概要

1) 調査の目的

名古屋市地域におけるDV被害者及び様々な状況の女性の暮らし向きや困りごとなどの現状と課題・ニーズを把握するために、支援を受けたことがあるDV被害者及び困難な問題を抱える女性に対してアンケート調査を実施しました。

また、支援関係機関等から見たDV被害者等の現状と課題・ニーズを把握するとともに、支援上の課題やニーズをあわせて把握するために、支援関係機関等に対してもアンケート調査を実施しました。

2) 調査対象及び調査方法

調査対象	名古屋市域でDV被害者又は困難な問題を抱える女性への支援を行う支援関係機関等の支援を受けたことがあり、現在はDVのある環境から離れているなど危険性のない状況にいるDV被害者	名古屋市域でDV被害者又は困難な問題を抱える女性への支援を行う支援関係機関等の支援を受けたことがある困難な問題を抱える女性	名古屋市域でDV被害者又は困難な問題を抱える女性への支援を行う支援関係機関等
調査期間	令和6年8月30日～令和6年10月31日	令和6年8月30日～令和6年10月31日	令和6年8月30日～令和6年12月16日
調査方法	支援関係機関等からの直接配布、回収は郵送方式及びWEB回答方式	支援関係機関等からの直接配布、回収は郵送方式及びWEB回答方式	電子ファイル配付、回収は電子ファイル回答方式
配慮事項	調査対象者には調査目的と個人情報の取り扱い、留意事項について紙面上で説明した。支援関係機関等には対象者の選定や調査の影響について紙面上で説明した上で配布を依頼した。		

3) 調査票の回収状況

種別	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
DV被害者	141*	48	48	34.0%
困難な問題を抱える女性	438*	61	61	13.9%
支援関係機関等	221	141	141	63.8%

*：支援関係機関等へ配布した調査票総数

【支援関係機関等の内訳】

	対象数	回答数
①女性相談支援センター、女性自立支援施設、母子生活支援施設	8	8
②女性福祉相談員	28	21
③区役所・支所（女性福祉担当部署）	22	17
④保健センター・男女平等参画推進センター	33	27
⑤DV被害者支援機関	11	7
⑥自立相談支援機関	3	3
⑦児童相談所	3	3
⑧児童養護施設・自立援助ホーム	16	9
⑨医療機関	7	5
⑩民間機関・団体	15	13
⑪その他支援機関（子ども若者、障害者、高齢者、部落差別、複合的な生活課題などの困難）	54	21
⑫大学	21	7
計	221	141

4) 報告書の見方

- ・ グラフ・表中の「n」はアンケートの回収数を示しています。
- ・ 支援関係機関等の調査では、支援関係機関等により調査の問に含まれていないことがあります。回答数と「n」が合わない場合があります。
- ・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略しています。また、選択肢の見出しを簡略化してある場合があります。